



月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

発表! 第29回

杉野十佐一賞!

2025

1

## 決定！第29回 杉野十佐一賞！ 4

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし 24

会員雑詠集「無人駅」 27

## ■例月句会結果■

おかじょうき川柳社 川柳忘年会 2024 39

十和田たてがみ川柳会 11月句会報 45

川柳吟行会「ぼ」 48

Infomation 52～

おかじょうき川柳社 会員の皆様へ  
大事なお知らせです。

これまで紙での冊子で発行していた「月刊おかじょうき」ですが、昨今の物価高騰に加え、郵便料金の値上げなどを考慮した結果、皆さんからいただいている6,000円の**年会費では、今後の運営が厳しい**との判断となりました。

また、そんな状況の中、「年会費の増額」という皆さんへの負担を大きくすることも避けたいと思い、熟慮した結果、断腸の思いではありますが、**印刷物による柳誌の発行を今号で断念**することといたしました。

これからは、おかじょうき川柳社のウェブサイト上の電子柳誌を、毎月、**誰でも年会費不要で閲覧**できるようになります。

その代わりに、印刷・郵送コストの大幅な削減が可能となり、**2025年からの年会費を現在の6,000円から4,000円に値下げ**いたします。

会員の主な特典としては以下の通りです。

- 月例句会や会員雑詠集「無人駅」に投句できます！
- 川柳データベースに作品が掲載されます！
- 当柳社が主催する誌上句会等が参加費無料になります！
- 青森の美味しい特産品がたまにもらえます！ etc.

会員の中でも、スマートフォンやインターネット環境が整っていない方がおられることも重々承知しておりますが、現状ならびに今後も持続可能な柳社運営のための措置であるということを、ご理解いただければと思います。

おかじょうき川柳社

# 杉野十佐一賞

題「紙」

すぎのとさいち▼昭和26年におかじょうき川柳社を設立。没年の昭和54年まで初代代表として多くの作家を育成。永年にわたる川上三太郎との親交から竜飛岬の三太郎句碑建立に尽力。  
【集計方法】点数は、各選者の特選を5点、秀逸3点、佳作1点とし、同点の場合、より高い位に選ばれているものが上位。

■第29回杉野十佐一賞 大賞作品■

〔10点〕(特)むさし(秀)政二(佳)れいこ・ちえみ

紙屑に一度はなつてみるといい

芝岡かんえもん

(神奈川県横浜市)



【受賞の言葉】

おかしょうきの奈良一艘さんが亡くなり気落ちしていたところに、とつても嬉しいニュースが届きました。「大賞受賞、おめでとうございます！」あらーあらーらー！瞳孔がドーンと開きました(笑)  
占い師に11月から名誉運が来ると言われ期待していたのですが、なんと杉野十佐一賞！最高の名誉運がやってきました。  
句について一言。この句のバックボーンは怒りです。人への怒り、己への怒りが言葉を紡ぎました。ひよつとしたら怒りは私にむいているのかも知れません。最後に…これからの作句活動に影響を与えると思う杉野十佐一賞に感謝です。

紙屑に  
一度はなつて  
みるといい  
かんえもん

【準賞 (9点)】

(秀) 政二・むさし(佳) れいこ・由紀子・裕見子  
飛行機を何度折つても人になる

東京都 辻 述

【9点】

(特) 政二(佳) れいこ・由紀子・ちえみ・裕見子  
いちにちはだいたい紙でできている

滋賀県 安井茂樹

【8点】

(秀) ちえみ・むさし(佳) れいこ・裕見子  
追っかけて来ないよう折り鶴を置く  
(秀) 政二(佳) れいこ・由紀子・ちえみ・裕見子・むさし  
人影のように新聞飛んでゆく

青森県 佐藤雅秀

秋田県 佐渡真紀子

【7点】

(秀) れいこ・ちえみ(佳) 由紀子  
(ゆうやけを) 白紙にもどす遣唐使  
(秀) 由紀子(佳) 政二・れいこ・ちえみ・裕見子  
新聞紙一枚におさまってしまう  
(秀) むさし(佳) 政二・れいこ・由紀子・裕見子  
ずつとずつと折られたままれたままの紙  
(秀) ちえみ・むさし(佳) 裕見子  
オーロラを給紙トレイに入れました

東京都 暮田真名

滋賀県 安井茂樹

奈良県 ひとり静

大阪府 まつりべきん

(特) 由紀子(佳) 政二・裕見子  
老人が持ち歩いている紙の束

青森県 小野五郎

【6点】

(秀) れいこ(佳) ちえみ・裕見子・むさし  
たとう紙にしまう 静かにしてもらおう  
(秀) 由紀子(佳) 政二・ちえみ・むさし  
遺言書見ました笑っちゃいました  
(秀) れいこ(佳) 由紀子・ちえみ・裕見子  
紙ねんど兵器もパンもひまわりも  
(秀) れいこ(佳) 政二・由紀子・裕見子  
もういいかほなさいならと紙吹雪  
(秀) 由紀子(佳) 政二・れいこ・むさし  
ピアノにも家にもなった小さな紙  
(特) ちえみ(佳) れいこ  
半券はもう伝説になるつもり  
(特) れいこ(佳) 由紀子  
あまりにも付箋とてつもなくティッシュ

青森県 熊谷冬鼓

大阪府 峯島 妙

大阪府 浅井ゆず

大阪府 小原由佳

大阪府 雨森茂喜

【5点】

(秀) 政二(佳) 由紀子・ちえみ  
カステラの紙でしたけど まだなにか?  
(秀) 政一(佳) ちえみ・裕見子  
まさかとは思いが紙の裏も見る

北海道 宇佐美慎一

秋田県 佐々木智恵子

(佳) 政二・由紀子・ちえみ・裕見子・むさし  
お礼口しているつもり紙コップ

大阪府 高杉 力

(佳) 政二・れいこ・由紀子・ちえみ・むさし  
姉は今紅いセロファン紙の向こう

青森県 滋野さち

(佳) 政二・れいこ・由紀子・ちえみ・裕見子  
紙ですから少し信用されてます

大阪府 浅井ゆず

(特) 裕見子  
ペーパーレス? ペーパー子も必要だ

大阪府 小林康浩

【4点】

(秀) 裕見子(佳) ちえみ  
紙燃やすように捨てたよ会津弁  
(秀) ちえみ(佳) 由紀子  
カステラの紙を今更はがせない  
(秀) むさし(佳) ちえみ  
くしやくしやの紙を伸ばして泣いている

千葉県 尾崎良仁

秋田県 佐々木智恵子

(秀) 裕見子(佳) 由紀子  
バーキンに鯛焼き二個とラブレター

兵庫県 中西南子

(秀) 裕見子(佳) ちえみ  
わかります付箋セラピーやってるね

大阪府 峯島 妙

(秀) ちえみ(佳) 由紀子  
表紙になつても足のウラだとわかる

東京都 藤田めぐみ

(秀) 由紀子(佳) むさし  
トイレットペーパーくるくる生きて来たリズム

愛媛県 村山浩吉

岩手県 熊谷岳朗

(秀) れいこ(佳) ちえみ・裕見子・むさし  
新聞紙くしゆくしゆく穴を埋めつくす

青森県 斎藤泰子

【3点】

(秀) 裕見子  
紙ストロー萎える妖精吸つたまま  
(佳) 政一・れいこ・ちえみ  
わかりましたと表紙はいつも青い空  
(佳) れいこ・由紀子・ちえみ  
リトマス紙青になつたら踊るわよ  
(佳) れいこ・由紀子・ちえみ  
ぺらの街 ペらの私の棲むところ  
(佳) れいこ・ちえみ・裕見子  
カレンダーに「ら」と書いてある母の未来  
(佳) 政二・れいこ・むさし  
美しい紙になあれと水をや

秋田県 斎藤泰子

青森県 高瀬霜石

青森県 熊谷冬鼓

大阪府 峯島 妙

大阪府 浅井ゆず

大阪府 小原由佳

大阪府 雨森茂喜

北海道 宇佐美慎一

秋田県 佐々木智恵子

(秀) れいこ(佳) 裕見子  
終わりそうな君と短いシートと

滋賀県 北村幸子

(秀) 裕見子(佳) れいこ  
紙コップ本名書いてあり ビビる

青森県 滋野さち

(佳) れいこ・由紀子・裕見子・むさし  
画紙いっぱい泣き声だけが描いてある

奈良県 ひとり静

(佳) 由紀子・ちえみ・裕見子・むさし  
新聞紙しぼる戦争縛るように

青森県 吉見恵子

【3点】

(秀) 由紀子  
新聞紙くしゆくしゆく穴を埋めつくす  
(秀) 裕見子  
紙ストロー萎える妖精吸つたまま  
(佳) 政一・れいこ・ちえみ  
わかりましたと表紙はいつも青い空  
(佳) れいこ・由紀子・ちえみ  
リトマス紙青になつたら踊るわよ  
(佳) れいこ・由紀子・ちえみ  
ぺらの街 ペらの私の棲むところ  
(佳) れいこ・ちえみ・裕見子  
カレンダーに「ら」と書いてある母の未来  
(佳) 政二・れいこ・むさし  
美しい紙になあれと水をや

兵庫県 筏井加代子

東京都 小沢 史

京都府 山本知佳子

北海道 四ツ屋いずみ

京都府 蟹口和枝

滋賀県 北村幸子

秋田県 赤石ゆう



(佳) 由紀子・ちえみ・むさし  
 の途中では紙でしたということとか  
 (佳) ちえみ・裕見子・むさし  
 俺が紙芝居だ山場だぞめくれ  
 (佳) 由紀子・ちえみ・裕見子  
 コウゾ君ミツマタ君を囲む会  
 (佳) 政二・ちえみ・むさし  
 破けちゃった金魚すくいのようなですよ  
 (佳) れいこ・由紀子・ちえみ  
 舌はもう原稿用紙モードです  
 (佳) れいこ・由紀子・むさし  
 白亜紀を見たたくて恐竜折っている  
 (佳) 政二・れいこ・むさし  
 ポスターの鼻の画鋏の奥に雪  
 (佳) 政二・れいこ・むさし  
 紙がいい燃えても風に吹かれても  
 (佳) 政二・れいこ・ちえみ  
 できるだけ大きな紙で包む嘘  
 (佳) 政二・れいこ・由紀子  
 裏紙のチカラコブまだ温かい  
 (佳) れいこ・由紀子・裕見子  
 曇のち収入印紙または棘  
 大阪府 雨森茂喜  
 宮崎県 雨月茄子春  
 大阪府 小林康浩  
 青森県 守田啓子  
 徳島県 徳長 怜  
 大阪府 笠嶋恵美子  
 東京都 小沢 史  
 秋田県 赤石ゆう  
 京都府 西山竹里  
 青森県 にじの真美  
 大阪府 まつりぺきん

(佳) 政二・むさし  
 ヒコキに折られた手紙げさ届く  
 (佳) ちえみ・むさし  
 ほしいのは今日の苦さを包む紙  
 (佳) れいこ・ちえみ  
 エリーゼの夜なめらかな紙になる  
 (佳) れいこ・由紀子  
 あらかたは雲のかけらかいる紙か  
 (佳) 政二・むさし  
 ペーパーレス僕も一緒に消えました  
 (佳) 政二・むさし  
 古紙しぼる私もろとも捨ててくる  
 (佳) 政二・むさし  
 「生きるって何」 ゆっくりひらく紙つぶて  
 (佳) 由紀子・ちえみ  
 許されているのは紙の重さまで  
 (佳) 政二・ちえみ  
 応用編は得意技です段ボール  
 (佳) れいこ・むさし  
 爺ちゃんがばら撒く白紙委任状  
 (佳) ちえみ・裕見子  
 副知事の顔から剥がすパラフィン紙  
 (佳) ちえみ・裕見子  
 馬糞紙の話題で五分盛り上がり  
 大阪府 宮井いずみ  
 京都府 山本知佳子  
 滋賀県 重森恒雄  
 北海道 澤野優美子  
 京都府 和田洋子  
 青森県 熊谷冬鼓  
 静岡県 米山明日歌  
 東京都 はるのあきこ  
 青森県 にじの真美  
 大阪府 岸井ふさゑ  
 北海道 宇佐美慎一  
 京都府 河村啓子

【2点】

(佳) 政二・むさし  
 やさしさを紙で包んで重くする  
 (佳) ちえみ・裕見子  
 妖精が剥がす空室有りの紙  
 (佳) 由紀子・むさし  
 猫背の紙切れの渡った交差点  
 (佳) 政二・むさし  
 幸せになるはずだった紙コップ  
 (佳) 政二・由紀子  
 何ひとつ紙に逆うことはない  
 (佳) 政二・由紀子  
 あくまでも紙であろうとする紙幣  
 (佳) 政二・ちえみ  
 紙だから説得力はありません。  
 (佳) 由紀子・裕見子  
 くしやくしやの浅草紙があつたかい  
 (佳) 政二・ちえみ  
 上手く描けたら夕陽はキミにあげる  
 (佳) 裕見子・むさし  
 しゃっくりが続くシャッター街の張り紙  
 (佳) 政二・由紀子  
 紙の人形(ひとがた)にかおを描く つながる  
 兵庫県 妻木寿美代  
 愛知県 青砥 和子  
 福井県 みつ木もも花  
 愛知県 安井紀代子  
 青森県 坂本清乃  
 兵庫県 妻木寿美代  
 大阪府 岸井ふさゑ  
 青森県 笹田かなえ  
 青森県 須藤しんのすけ  
 京都府 岩根彰子  
 愛知県 黒川利一

(佳) れいこ・裕見子  
 びしゃびしゃにしてみる紙の約束  
 (佳) ちえみ・むさし  
 今晚のおかずは離婚届です  
 (佳) 裕見子・むさし  
 再生紙どうして旅をしませんか  
 (佳) 由紀子・裕見子  
 ねむるのがいつからむずかしい白紙  
 (佳) ちえみ・むさし  
 月からの招待状は明日まで  
 (佳) れいこ・由紀子  
 つつみこむまもるつたえるふれる紙  
 (佳) 由紀子・裕見子  
 新聞を一枚かけてイブとアダム  
 (佳) 政二・ちえみ  
 紙のないトイレに非常ボタン押す  
 兵庫県 八上桐子  
 石川県 岡本 聡  
 大阪府 笠嶋恵美子  
 兵庫県 八上桐子  
 秋田県 佐渡真紀子  
 岐阜県 早川 柚香  
 秋田県 田久保亜蘭  
 島根県 石橋 芳山

※一点句は誌面の都合上、割愛させていただきます。



徳永政二選  
とくながせいじ／滋賀県・「びわこ番傘川柳会」所属

【佳作】

もういいかほなさいならと紙吹雪  
紙ですから少し信用されてます  
五線紙に蛙の子らを泳がせる  
とりあえず紙とエンピツ用意する  
沖までは握り締めてる紙テープ  
たとう紙開いて亡母に会いに行く  
紙のないトイレに非常ボタン押す  
遺言書見ました笑つちやいました  
さよならはお任せします再生紙  
折り鶴に母の命を吹きこまん  
紙吹雪そして選んだ樹木葬  
僕トイレトペーパーになれませぬ  
ポスターの鼻の画鋏の奥に雪  
紙屑を積み上げバーガー店を出る  
紙だから説得力はありません。  
ピアノにも家にもなった小さな紙  
古紙しぼる私もろとも捨ててくる

- |     |       |
|-----|-------|
| 大阪府 | 峯島 妙  |
| 大阪府 | 浅井ゆづ  |
| 青森県 | 船橋敏昭  |
| 秋田県 | 田久保亜蘭 |
| 京都府 | 和田洋子  |
| 宮崎県 | てつろう  |
| 島根県 | 石橋芳山  |
| 青森県 | 高瀬霜石  |
| 愛媛県 | 郷田みや  |
| 福岡県 | 城後朱美  |
| 青森県 | まみどり  |
| 石川県 | 岡本 聡  |
| 東京都 | 小沢 史  |
| 大阪府 | 小川佳恵  |
| 大阪府 | 岸井ふさる |
| 大阪府 | 浅井ゆづ  |
| 青森県 | 熊谷冬鼓  |

破けちゃった金魚すくいのようにです  
ペーパーレス僕も一緒に消えました  
紙いちまい燃えたりも飛んだりもする  
わかりましたと表紙はいつも青い空  
上手く描けたら夕陽はキミにあげる  
勢いの一夜めくれし紙の朝  
紙飛行機ふわりと降りる部屋あかり  
姉は今紅いセロファン紙の向こう  
応用編は得意技です段ボール  
裏紙のチカラコブまだ温かい  
判を押すのは風ですか紙ですか  
あくまでも紙であろうとする紙幣  
美しい紙になあれと水をやる  
「生きるって何」ゆつくりひらく紙つづて  
何ひとつ紙に逆うことはない  
紙がいい燃えても風に吹かれても  
かさばらぬよう折って畳んだ一生を

青森県	守田啓子
京都府	和田洋子
愛知県	瀧村小奈生
京都府	山本知佳子
青森県	須藤しのすけ
青森県	旅 男
青森県	工藤麦の芽
青森県	滋野さち
青森県	にじの真美
福井県	みつ木もも花
兵庫県	妻木寿美代
京都府	西山竹里
秋田県	赤石ゆう
静岡県	米山明日歌
青森県	坂本清乃
秋田県	赤石ゆう
大阪府	山里はるえ

新聞紙一枚におさまってしまう

ずつとずつと折りたたまれたままの紙  
幸せになるはずだった紙コップ  
ヒコキに折られた手紙けさ届く  
おふくろのかな文字だけの手紙着く  
やさしさを紙で包んで重くする  
老人が持ち歩いている紙の束  
紙の人形ひとがたにおおを描く つながる  
お利口りこうにしているつもり紙コップ

- |     |       |
|-----|-------|
| 滋賀県 | 安井茂樹  |
| 奈良県 | ひとり静  |
| 愛知県 | 安井紀代子 |
| 大阪府 | 宮井いずみ |
| 東京都 | あ さ じ |
| 兵庫県 | 妻木寿美代 |
| 青森県 | 小野五郎  |
| 愛知県 | 黒川利一  |
| 大阪府 | 高杉 力  |

【秀逸】

まさかとは思うが紙の裏も見る  
カステラの紙でしたけど まだなにか？  
飛行機を何度折っても人になる  
紙屑に一度はなつてみるといい  
人影のように新聞飛んでゆく

- |      |         |
|------|---------|
| 秋田県  | 佐々木智恵子  |
| 北海道  | 宇佐美慎一   |
| 東京都  | 辻 述     |
| 神奈川県 | 芝岡かんえもん |
| 秋田県  | 佐渡真紀子   |

【特選】

いちにちはだいたい紙できています

- |     |      |
|-----|------|
| 滋賀県 | 安井茂樹 |
|-----|------|

◆選評

今回の課題は「紙」。この題はほかの  
ところで一度経験しているが、その時  
は「折り紙」の句が中心だった。  
しかし、十佐一賞は違っていた。新  
しい魅力のある句がたくさん集まった。  
毎年、題によって集まる句が違つて  
くるので、考える方も大変である。

【秀逸】

まさかとは思うが紙の裏も見る  
これが人間の心理かもしれない。い  
い知らせもそうでない知らせも、つい  
裏を確かめてしまう。そして、何もな

かったことに安心する。

カステラの紙でしたけど まだなにか？  
「まだなにか？」がおもしろい。  
ゆつくりはがすカステラの底にひつ  
ついている紙には何か特別なものがあ  
る。その実感にうなずく。  
飛行機を何度折っても人になる

「人になる」に納得。

誰かに向かつて飛んでいるような一枚  
の紙が飛行機になって呼吸をしている。  
紙屑に一度はなつてみるといい  
実感が伝わるような書き方が魅力だ  
が、しかし、なつてみなければわからな  
い。紙屑に聞いても答えてはくれない。

人影のように新聞飛んでゆく

「人影」がいい。  
新聞紙が風に舞っている景色は何度  
か目にしている。  
人間のことがいつぱい書かれた新聞。

【特選】

いちにちはだいたい紙できています  
簡単なようだが難しい「紙」からの  
着想である。  
確かに過ぎてしまえばただの紙切れ  
のような一日。  
シンプルな書き方がいい。



なかはられいこ  
なかはられいこ／岐阜県・「ねじまき句会」代表



ねじまき句会  
公式サイト

【佳作】

できるだけ大きな紙で包む嘘  
裏紙のチカラコブまだ温かい  
紙だった右手で拭っている涙  
曇のち収入印紙または棘  
舌はもう原稿用紙モードです  
赤紙のゆるキヤラが来て盆踊り  
紙ですから少し信用されてます  
つつみこむまもるつたえるふれる紙  
人影のように新聞飛んでゆく  
秋のチエロ空色になるリトマス紙  
1ドルは14391円椿事はさて  
紙がいい燃えても風に吹かれても  
美しい紙になあれと水をやる  
画紙いっぱい泣き声だけが描いてある  
付箋紙の赤が性格の不一致  
紙屑に一度はなつてみるといい  
いちにちはだいたい紙でできている

- |      |         |
|------|---------|
| 京都府  | 西山竹里    |
| 青森県  | にじの真美   |
| 神奈川県 | 相原あやめ   |
| 大阪府  | まつりべきん  |
| 徳島県  | 徳長 怜    |
| 東京都  | 辻 述     |
| 大阪府  | 浅井ゆず    |
| 岐阜県  | 早川柚香    |
| 秋田県  | 佐渡真紀子   |
| 秋田県  | 妹尾 凜    |
| 奈良県  | 柳本恵子    |
| 秋田県  | 赤石ゆう    |
| 秋田県  | 赤石ゆう    |
| 奈良県  | ひとり静    |
| 青森県  | 井上健蔵    |
| 神奈川県 | 芝岡かんえもん |
| 滋賀県  | 安井茂樹    |

和紙に筆 便箋にペン 月に雲  
捺印の済んだ紙から鶴になる  
介護するみな柔らかな捨てる紙  
エリーゼの夜なめらかな紙になる  
白亜紀を見たくて恐竜折っている  
紙コップ本名書いてあり ビビる  
びしゃびしゃにしてみる紙の約束  
新聞紙一枚におさまってしまう  
じゃんけんはばあプロペラは一回休み  
二度折って開けばわるいようちえん  
べらの街 べらの私の棲むところ  
横紙を破れば白い蛇、二匹  
ちり紙を揉ませてみればわかります  
ピアノにも家にもなつた小さな紙  
あらかたは雲のかけらかいろ紙か  
飛行機を何度折つても人になる  
爺ちゃんがばら撒く白紙委任状  
リトマス紙青になつたら踊るわよ

- |     |        |
|-----|--------|
| 青森県 | 高木まあこ  |
| 大阪府 | 小原由佳   |
| 青森県 | 戎 踊兵   |
| 滋賀県 | 重森恒雄   |
| 大阪府 | 笠嶋恵美子  |
| 青森県 | 滋野さち   |
| 兵庫県 | 八上桐子   |
| 滋賀県 | 安井茂樹   |
| 鳥取県 | 斉尾くにこ  |
| 三重県 | 西脇祥貴   |
| 京都府 | 蟹口和枝   |
| 宮崎県 | 雨月茄子春  |
| 北海道 | 河野潤々   |
| 大阪府 | 浅井ゆず   |
| 北海道 | 澤野優美子  |
| 東京都 | 辻 述    |
| 大阪府 | 岸井ふさゑ  |
| 北海道 | 四ツ屋いずみ |

姉は今紅いセロファン紙の向こう

ずつとずつと折りたたまれたままの紙  
ポスターの鼻の画鋏の奥に雪  
追っかけて来ないよう折り鶴を置く  
熱帯夜に身もだえをする感熱紙  
ちり紙の話になると本気出す  
わかりましたと表紙はいつも青い空  
半券はもう伝説になるつもり  
カレンダーに「ら」と書いてある母の未来

- |     |       |
|-----|-------|
| 青森県 | 滋野さち  |
| 奈良県 | ひとり静  |
| 東京都 | 小沢 史  |
| 青森県 | 佐藤雅秀  |
| 京都府 | 西山竹里  |
| 千葉県 | 尾崎良仁  |
| 京都府 | 山本知佳子 |
| 大阪府 | 小原由佳  |
| 滋賀県 | 北村幸子  |

【秀逸】

もういいかほなさいならと紙吹雪  
終わりそうな君と短いレシートと  
紙ねんど兵器もパンもひまわりも  
(ゆうやけを) 白紙にもどす遣唐使  
たとう紙にしまう 静かにしてもらう

- |     |      |
|-----|------|
| 大阪府 | 峯島 妙 |
| 滋賀県 | 北村幸子 |
| 青森県 | 熊谷冬鼓 |
| 東京都 | 暮田真名 |
| 秋田県 | 斎藤泰子 |

【特選】

あまりにも付箋とてつもなくテイッシュ

- |     |      |
|-----|------|
| 大阪府 | 雨森茂喜 |
|-----|------|

【選評】

あまりにも付箋とてつもなくテイッシュ  
特選に選んだ句は初見から頭にこびりつ  
いて、今でもこびりついたままだ。そのせ  
いで付箋を貼るときも、テイッシュを使  
うときも、あまりにも、とか、とてつもなく、  
とか、どこからか声が聞こえるのだ。なに  
してくれるねん。ともあれ、私のなかでの  
付箋とテイッシュの概念は変わった。私はナ  
ンセンスな川柳なんて無いと、かたくなに  
思ってる。掲句は一見そう見えるけど、こ  
こには「あまりにも」と「付箋」の関係  
「とてつもなく」と「テイッシュ」の関係

が書かれているのだ。万が一、私が知らな  
いだけで「あまりにも〇〇とてつもなく〇  
〇」という構文があるとして、そこに付箋  
とテイッシュを思いついたことが、単純にす  
ごいと思う。  
秀逸5句については、思いつきり川柳の  
幅の広さを活用させていたのだ。  
秀逸① たとう紙にしまう 静かにしてもら  
この句にある仄暗い怖さは、何をしま  
うのか、が書かれていないところにある。「静  
かにして」が何を意味するのかも含めて  
怖い。  
秀逸② (ゆうやけを) 白紙にもどす遣唐使

誰もが暗記したことのある懐かしいフ  
レースだ。そんな年号の語呂合わせを下敷  
きにした機知に溢れた一句。カッコで括ら  
れた、ゆうやけが機知を詩に引き寄せてい  
て、そこにいちばん惹かれた。  
秀逸③ 紙ねんど兵器もパンもひまわりも  
紙ねんどで作られた「パン」と「ひまわり」  
に「兵器」が混じる。絵本テイストのイメー  
ジにノイズが混じる。やわらかな書き方な  
だけに、いま、そこにある危機が伝わって  
くる。  
(選評全文はおかじょうき川柳社ウェブサ  
イトに掲載いたします。)





# 樋口由紀子選

ひぐちゆきこ／兵庫県・「晴」編集発行人

【佳作】

日本の頭を決める阿弥陀籤  
紙ねんど兵器もパンもひまわりも  
戦いは紙風船の数競う  
新聞を一枚かけてイブとアダム  
クラウドは綿菓子味の白ヤギさん  
半額のアイスのチラシ@ヒロシマ  
紙の人形ひとだたにおおを描く つながる  
表紙になつても足のウラだとわかる  
曇のち収入印紙または棘  
裏紙のチカラコブまだ温かい  
のしに包まれ私のたどり着いた海  
新聞紙しばる戦争縛るように  
くしゃくしゃの浅草紙があつたかい  
つつみこむまもるつたえるふれる紙  
あらかたは雲のかけらかいる紙か  
泣き笑い今日も拍子木紙芝居  
画用紙をくつてしまつた駿河湾

- 静岡県 中前 棋人
- 青森県 熊谷 冬鼓
- 高知県 森乃 鈴
- 秋田県 田久保 亜蘭
- 熊本県 いわさき 楊子
- 京都府 岩根 彰子
- 愛知県 黒川 利一
- 愛媛県 村山 浩吉
- 大阪府 まつり ぺぎん
- 青森県 にじの 真美
- 秋田県 佐藤 春子
- 青森県 吉見 恵子
- 青森県 笹田 かなえ
- 岐阜県 早川 柚香
- 北海道 澤野 優美子
- 三重県 奥田 悦生
- 静岡県 中前 棋人

お利口にしているつもり紙コップ  
許されていいのは紙の重さまで  
雁皮紙に水茎の跡は典麗  
漉いて漉かれてペラッぺらの本物  
もういいかほなさいならと紙吹雪  
ねむるのがいつからむずかしい白紙  
カステラの紙を今更はがせない  
姉は今紅いセロファン紙の向こう  
紙ですから少し信用されてます  
舌はもう原稿用紙モードです  
白亜紀を見たくて恐竜折っている  
バーキンに鯛焼き二個とラブレター  
の途中では紙でしたということか  
何ひとつ紙に逆うことはない  
あくまでも紙であろうとする紙幣  
ずつとずつと折りたたまれたままの紙  
べらの街 べらの私の棲むところ  
リトマス紙青になったら踊るわよ

- 大阪府 高杉 力
- 東京都 はるの あきこ
- 埼玉県 佐野 純
- 青森県 田中 薫
- 大阪府 峯島 妙
- 兵庫県 八上 桐子
- 秋田県 佐々木 智恵子
- 青森県 滋野 さち
- 大阪府 浅井 ゆず
- 徳島県 徳長 怜
- 大阪府 笠嶋 恵美子
- 大阪府 峯島 妙
- 大阪府 雨森 茂喜
- 青森県 坂本 清乃
- 兵庫県 妻木 寿美代
- 奈良県 ひとり 静
- 京都府 蟹口 和枝
- 北海道 四ツ屋 いずみ

画紙いっぱい泣き声だけが描いてある

猫背の紙切れの渡つた交差点

(ゆうやけを) 白紙にもどす遣唐使

カステラの紙でしたけど まだなにか?

いちにちはだいたいの紙でできている

あまりにも付箋とてつもなくティッシュ

飛行機を何度折つても人になる

人影のように新聞飛んでゆく

- 奈良県 ひとり 静
- 福井県 みつ木 もも花
- 東京都 暮田 真名
- 大阪府 小林 康浩
- 北海道 宇佐 美慎一
- 滋賀県 安井 茂樹
- 大阪府 雨森 茂喜
- 東京都 辻 述
- 秋田県 佐渡 真紀子

【秀逸】

ピアノにも家にもなつた小さな紙  
トイレットペーパーくるくる生きて来たリズム  
新聞紙くしゅくしゅ穴を埋めつくす  
遺言書見ました笑つちやいました  
新聞紙一枚におさまってしまふ

【特選】

老人が持ち歩いている紙の束

- 大阪府 浅井 ゆず
- 岩手県 熊谷 岳朗
- 兵庫県 篠井 加代子
- 青森県 高瀬 霜石
- 滋賀県 安井 茂樹
- 青森県 小野 五郎

【選評】

老人が持ち歩いている紙の束

昨年の杉野十佐一賞大賞の句と仕立て方が似ているので、最後まで迷つたがやはり落とせなかった。「老人」と「紙の束」にリアリティがありすぎて、圧倒された。「老人」を見事に描写している。誰もが等しく「老人」になる。「紙の束」はなにか。ただの無駄な紙かもしれない。札束かもしれない。二つの名詞をつないでいる「持ち歩いている」もびつたりとはまっている。豊かな消費社会への警告だろうか。消費社会であるがゆえの喪失感が際立っている。この姿は過去の、現在の、未来の、私たち自身である。この句の底には根源

的寂しさがある。その姿を想像するだけで切なく、哀しくなる。言葉の一つ一つの意味をきちんと立ち上げながら、映像的な虚構性をまとわせて、川柳に仕上げている。

新聞紙一枚におさまってしまふ

何を、どのようにすれば、なぜそうなるのか。具立的には何も書かれていない。新聞紙一枚に書かれていることは、人生全般もそのような気がしないでもない。しかし、それを嘆いているのでもなさそうである。そんなものだと思っただけだ、きつと。

遺言書見ました笑つちやいました

そんな遺言書を作ってみたものだとも思つた。「遺言書」というわりと重たいものが、「笑つちやいました」と喜んで返す。「ほなさいなら」と書いたほんわかするイラスト入りだったのかも知れない。

新聞紙くしゅくしゅ穴を埋めつくす

トイレットペーパーくるくる生きて来たリズム  
ピアノにも家にもなつた小さな紙  
誰もか思い当たる経験を見つけて、説明や報告の穴に落とさないように、コトをスムーズに手際よく運んでいる。





ひろせちえみ／宮城県／「Whats」編集発行人

# 広瀬ちえみ選

【佳作】  
巻き紙の阿弥陀籤を引かされる  
馬糞紙の話題で五分盛り上がり  
コウゾ君ミツマタ君を囲む会  
紙のないトイレに非常ボタン押す  
紙ですから少し信用されてます  
今晚のおかずは離婚届です  
カレンダーに「ら」と書いてある母の未来  
紙の本から銀河へ行つて来たところ  
新聞紙しぼる戦争縛るように  
の途中では紙でしたということとか  
紙屑に一度はなつてみるという  
できるだけ大きな紙で包む嘘  
立派な紙でした人生でした つづく  
わかります付箋セラピーやつてるね  
一線を越える紙ヒコキのころ  
遺言書見ました笑っちゃいました  
ほしいのは今日の苦さを包む紙

応用編は得意技です段ボール  
月からの招待状は明日まで  
たとう紙にしまう 静かにしてもらう  
十五夜に白紙委任をして眠る  
人影のように新聞飛んでゆく  
カステラの紙でしたけど まだなにか？  
副知事の顔から剥がすパラフィン紙  
許されていいのは紙の重さまで  
エリーゼの夜なめらかな紙になる  
リトマス紙青になつたら踊るわよ  
新聞紙一枚におさまつてしまふ  
ぺらの街 ぺらの私の棲むところ  
上手く描けたら夕陽はキミにあげる  
姉は今紅いセロファン紙の向こう  
俺が紙芝居だ山場だぞめくれ  
紙燃やすように捨てたよ会津弁  
舌はもう原稿用紙モードです  
破けちゃつた金魚すくいのようにですよ

くしゃくしゃの紙を伸ばして泣いている  
白紙撤回 スズメいつせいに飛び立つ  
わかりましたと表紙はいつも青い空  
いちにちはだいた紙できていて  
妖精が剥がす空室有りの紙  
紙だから説得力はありません。  
紙ねんど兵器もパンもひまわりも  
お利口しているつもり紙コップ  
まさかとは思ふが紙の裏も見る

【秀逸】  
オーロラを給紙トレイに入れました  
追っかけて来ないよう折り鶴を置く  
表紙になつても足のウラだとわかる  
(ゆうやけを) 白紙にもどす遣唐使  
カステラの紙を今更はがせない

【特選】  
半券はもう伝説になるつもり

【選評】  
秀一と特選の作品でどちらを特選にするか最後まで迷つた。選をしていて先に心に引つかなかつたのは秀一の作品だった。カステラではないけどカステラの包装紙に包まれ何処かへ誰かへ差し出される。中味は何だつたのだろう。饅頭？ 賄賂？ 開けたときのその人の表情は？ ニンマリとするのか、あるいは笑い転げるのか。この作品にはこの世への哀しみ怒り、笑い、がすべて含まれている。こんな場面はあちこちで繰り広げられ、「私ってナニ？」と思うことがしばしばである。特選の半券は映画、演劇、美術館、遊園地等さまざま。昔映画のパンフレッ

トを集めていたことがある。本棚一段になり捨ててしまつたが、その後ひどく後悔している。半券をスクラップブックに収集している人もいるかもしれない。楽しかった時間が確かにあつたという人生の歴史でもある。しかし、昨今、もうチケットは必要ではない。すべてスマホの中にある。コンサートも美術館もスマホで申込み、差し出せば簡単に入場できる。美しく印刷された、あるいは特徴的な文字で書かれた半券は残らない。  
この作品は半券が意思を持った主語として語られている。舞台から去る日が来ているが、半券は「つもり」と言う言葉から嘆いているのではなく、誇りをもつて勇退するつもりだ。  
半券のスクラップブックは確かに伝説になるだろう。その人だけの伝説物語ではあるが。  
(ゆうやけ)を白紙にもどす遣唐使もとても気になつた作品だった。( )の中に入るのゆうやけの他にどんなものがあるだろうと考えたが、遣唐使とゆうやけがびつたりだと思つた。新たな一日に望みを託し遣唐使として異国の人々との対話を交わそうとしている。ある意味私たちは遣唐使なのかもしれない。  
「紙」の作品群を読み、今回は選が割れるのではないだろうかと思つた。



# 峯 裕見子 選

みねゆみこ／滋賀県・第28回杉野十佐一賞受賞者

【佳作】

ねむるのがいつからむずかしい白紙  
老人が持ち歩いている紙の束  
再生紙どうして旅をしませんか  
紙ですから少し信用されてます  
新聞紙一枚におさまってしまう  
終わりそうな君と短いシートと  
紙が笑い私も今日は上機嫌  
いちにちはだいた紙でできている  
新聞を一枚かけてイブとアダム  
曇のち収入印紙または棘  
びしゃびしゃにしてみる紙の約束  
飛行機を何度折っても人になる  
画紙いっぱい泣き声だけが描いてある  
紙ねんど兵器もパンもひまわりも  
ずっとずっと折りたたまれたままの紙  
雲間から夕陽が出たぞ紙を漉け  
蘇る 紙より白き 頬の妻

- 兵庫県 八上 桐子
- 青森県 小野 五郎
- 大阪府 笠嶋恵美子
- 大阪府 浅井ゆづ
- 滋賀県 安井茂樹
- 滋賀県 北村幸子
- 岩手県 熊谷岳朗
- 滋賀県 安井茂樹
- 秋田県 田久保亜蘭
- 大阪府 まつりべきん
- 兵庫県 八上 桐子
- 東京都 辻 述
- 奈良県 ひとり 静
- 青森県 熊谷冬鼓
- 奈良県 ひとり 静
- 青森県 守田啓子
- 東京都 越田清四郎

副知事の顔から剥がすパラフィン紙

紙魚だけは読み取ってくれたさ：たぶん  
懐紙につつま百歳の股関節  
俺が紙芝居だ山場だぜめくれ  
お利口になっているつもり紙コップ  
銀紙を口に入れては祖父になる  
新聞紙しぼる戦争縛るように  
紙幣を吸う北島三郎の鼻  
フランシーヌになろうとするティッシュ  
子が巣立つ母に型紙だけ置いて  
紙風船鱒二の訳を諳んじる  
もういいかほなさいならと紙吹雪  
しゃっくりが続くシャッター街の張り紙  
進次郎ラシクなるまでティッシュオフ  
人影のように新聞飛んでゆく  
コウゾ君ミツマタ君を囲む会  
カレンダーに「ら」と書いてある母の未来  
追っかけて来ないよう折り鶴を置く

- 北海道 宇佐美慎一
- 青森県 きさらぎ彼句吾
- 北海道 澤野優美子
- 宮崎県 雨月茄子春
- 大阪府 高杉 力
- 千葉県 岡本 隴
- 青森県 吉見恵子
- 岡山県 藤井智史
- 徳島県 徳長 怜
- 青森県 葉 閑女
- 青森県 高瀬霜石
- 大阪府 峯島 妙
- 京都府 岩根彰子
- 青森県 きさらぎ彼句吾
- 秋田県 佐渡真紀子
- 大阪府 小林康浩
- 滋賀県 北村幸子
- 青森県 佐藤雅秀

岸柳さんを紙風船で捕まえる

まさかとは思うが紙の裏も見ろ  
馬糞紙の話題で五分盛り上がり  
紙切りの師匠ではなくぬらりひょん  
妖精が剥がす空室有りの紙  
くしゃくしゃの浅草紙があつたかい  
オーロラを給紙トレイに入れました  
紙つ切れやなんてぞんざいやなあ君  
たとう紙にしまう 静かにしてもらおう

- 青森県 笹田隆志
- 秋田県 佐々木智恵子
- 京都府 河村啓子
- 東京都 飯島章友
- 愛知県 青砥和子
- 青森県 笹田かなえ
- 大阪府 まつりべきん
- 兵庫県 中西南子
- 秋田県 斎藤泰子

【秀逸】

紙コップ本名書いてあり ビビる  
紙ストロー萎える妖精吸ったまま  
わかります付箋セラピーやつてるね  
バーキンに鯛焼き二個とラブレター  
紙燃やすように捨てたよ会津弁

- 青森県 滋野さち
- 東京都 小沢 史
- 東京都 藤田めぐみ
- 大阪府 峯島 妙
- 千葉県 尾崎良仁

【特選】

ペーパーレス？ ペーもパー子も必要だ

- 大阪府 小林康浩

【特選】

ペーパーレス？ ペーもパー子も必要だ  
年齢のせい、耳が遠くなったり、いろいろなこと、訳が分からなくなっているおじいちゃん、と話しているみたいだと思つて、にっこりしてしまつた句だ。この句、例えば抒情だ批評だ意味性だと真面目に会議をしている部屋に、ちっちゃい手榴弾を投げ込んだような印象がある。それでも無造作に荒っぽく書かれたものではないと思う。よく研いだナイフで切つた感じがある。あの夫婦漫才のショッキングピンクの衣装や極楽鳥みたいなパー子の笑い声がよぎる。

【秀逸1】

紙燃やすように捨てたよ会津弁  
心が「しん」とする作品である。色紙に書いて自分の部屋の壁に貼っておきたいくらいだ。「会津弁」だからこそ成立する句だと思ふ。  
雪の重さや人との関わりや味わつた蹉跌が伝わってくる。大阪弁ではこうはいかない。(大阪弁がわるいわけではなく)

【秀逸2】

バーキンに鯛焼き二個とラブレター  
高級ブランドのバーキンのバッグ・鯛焼き

【秀逸3】

わかります付箋セラピーやつてるね  
「あなたの選んだ付箋で深層心理が判ります」というところか。あるいは付箋に書いた内容を分析するのか。「付箋セラピー」は造語であろう。川柳ならではの掴み取り方だと思ふ。この鮮度を認めたい。  
(全文はウェブサイトに掲載します。)



むさし／青森県・おかげようき川柳社代表

むさし選

【佳作】  
姉は今紅いセロファン紙の向こう  
紙がいい燃えても風に吹かれても  
病む母へ筆談会話続けます  
ピアノにも家にもなった小さな紙  
月からの招待状は明日まで  
紙風船耳をすませば母の吐息  
紙飛行機ですか果たし状ですか  
新聞紙しぼる戦争縛るように  
ヒコキに折られた手紙けさ届く  
爺ちゃんがばら撒く白紙委任状  
書き切れぬ思いが紙の上を這う  
ポスターの鼻の画鋏の奥に雪  
「生きるって何」ゆっくりひらく紙つぶて  
破けちゃった金魚すくいのようにすまよ  
白亜紀を見たくて恐竜折っている  
トンネルの出口へ誘う紙おむつ  
人影のように新聞飛んでゆく

- 青森県 滋野さち  
秋田県 赤石ゆう  
福岡県 城後朱美  
大阪府 浅井ゆず  
秋田県 佐渡真紀子  
佐賀県 桐野みづえ  
大阪府 高杉 力  
青森県 吉見恵子  
大阪府 宮井いずみ  
大阪府 岸井ふさゑ  
石川県 宮田喜美子  
東京都 小沢 史  
静岡県 米山明日歌  
青森県 守田啓子  
大阪府 笠嶋恵美子  
埼玉県 山田こいし  
秋田県 佐渡真紀子

たとう紙にしまう 静かにしてもらう  
壁紙と深夜三時の物思い  
しゃっくりが続くシャッター街の張り紙  
今晩のおかずは離婚届です  
再生紙どうして旅をしませんか  
トイレットペーパーくるくる生きて来たりズム  
泣いてみせる紙ストローの溶けるまで  
俺が紙芝居だ山場だぜめくれ  
お品書き残してあなただけ消えた  
ペーパーレス僕も一緒に消えました  
お利口になっているつもり紙コップ  
古紙しぼる私もろとも捨ててくる  
ほしいのは今日の苦さを包む紙  
純白の過去は語るぬ再生紙  
紙おむつにナンパされちゃった  
幸せになるはずだった紙コップ  
紙魚の跡追って卑弥呼に会いに行く  
猫背の紙切れの渡った交差点

- 秋田県 斎藤泰子  
埼玉県 野邊富優葉  
京都府 岩根彰子  
石川県 岡本 聡  
大阪府 笠嶋恵美子  
岩手県 熊谷岳朗  
兵庫県 筏井加代子  
宮崎県 雨月茄子春  
東京都 藤田めぐみ  
京都府 和田洋子  
大阪府 高杉 力  
青森県 熊谷冬鼓  
京都府 山本知佳子  
静岡県 柳谷益弘  
北海道 浪越靖政  
愛知県 安井紀代子  
埼玉県 山田こいし  
福井県 みつ木もも花

障子から朝が素足で入り込む  
愛したり殺してみたり紙一重  
美しい紙になあれと水をやる  
レシートが1枚あの人はいない  
遺言書見ました笑っちゃいました  
の途中では紙でしたということか  
やさしさを紙で包んで重くする  
画仙紙も筆も淫らになる真昼  
画紙いっぱい泣き声だけが描いてある

- 秋田県 佐藤春子  
大阪府 山里はるえ  
秋田県 赤石ゆう  
青森県 まみどり  
青森県 高瀬霜石  
大阪府 雨森茂喜  
兵庫県 妻木寿美代  
青森県 葉 閑女  
奈良県 ひとり静

【秀逸】  
オーロラを給紙トレイに入れました  
飛行機を何度折っても人になる  
ずっとずっと折たたまたまの紙  
くしゃくしゃの紙を伸ばして泣いている  
追っかけて来ないよう折り鶴を置く

- 大阪府 まつりぺきん  
東京都 辻 述  
奈良県 ひとり静  
兵庫県 中西南子  
青森県 佐藤雅秀  
神奈川県 芝岡かんえもん

【選評】

第29回杉野十佐一賞に多くの方々からご応募をいただきました。誠にありがとうございます。

選者をお引き受けくださった方々、お忙しい中選考に時間を割いていただき深く感謝申し上げます。  
応募数は、前々回が322句、前回が333句、そして今回は274句となりました。  
前回からの落ち込みが気になりますが、主催者としては応募をありがたく思っております。

今回の題「紙」は、別の機会に何度も作句されたことがあって作りづらかったことと思います。

同じ題でこれまでと違った発想の句を作ることです。果たして壁を破ることができましたでしょうか。

秀逸3 「折たたまれた紙」を作者本人のこととして読みました。この紙は、これから開かれることがあるのでしょうか。開かれるとしたら、いつ、どんなふうに開かれるのでしょうか。

秀逸2 作者が泣いている原因は「くしゃくしゃの紙」です。なぜくしゃくしゃの紙を伸ばしながら泣いているのか書かれていませんが、特別のことが書かれていたのかもしれませんが、くしゃくしゃにしたのは作者でしょうか。それとも違う誰かでしょうか。答は読者の胸の中に

ある、ですね。

秀逸1 「折り鶴」には、これまで「長寿の象徴」や「願いを成就させる物」あるいは「平和のシンボル」というイメージがありました。その「折り鶴」とは違う発想のおもしろさがあります。

特選 紙屑に一度はなってみるといい  
読者に対する人生のアドバイスでしょうか。作者には「紙屑」になった経験が何度もあるようです。「紙屑」を広辞苑で調べると「不用となった紙片。使つて捨てた紙。」とあります。一度捨てられて、そこから這い上がって来い。そうしてみんなと肩を並べよう、と言っているような気がします。







## カンテラ

むせし

新年あけましておめでとうございます。  
旧年はいろいろお世話になりました。  
本年もよろしく願います。

それではカンテラに明かりを点しましょう。

## A群

九十五になつたらわかると母が言う	城後朱美
婆ちゃんにだつて哲学くらいある	斎藤泰子
何回目の脱皮かしらひとり酒	田中 薫
食べることにだけ集中転ぶなよ	鳴海賢治
言い訳を並べ推敲するお通夜	須藤しのすけ
マンネリをかき混ぜながら夕焼ける	三浦蒼鬼

## B群

一個ずつ引き出し捨てに森へ行く	坂本清乃
ナポリタン癩癩玉をトッピング	岩根彰子
ビル風にケモノの顔を飛ばされる	戎 踊兵
つい過去へ向かつてしまつ足袋は脱ぐ	きんぎょ彼句書
骨つ節強くなかつちや女でしょ	高木まあこ
回転ドアくるり戒名は決めてある	まきこ
冬籠りの水面いい夢見てますか	葉 閑女
通り雨ガザの悲劇を置いてゆく	吉見恵子
正面のさそり座唐揚げにしたら	四ツ屋いずみ
やんわりと断る角度さがす指	米山明日歌
兵隊のリズムに合わせ動く足	吉田州花
とりあえずこむら返りと話し合う	辻井洋子

辻井洋子さん、「こむら返り」が起きるの? 「こむら返り」は、ふくらはぎの筋肉がにわかには痙攣(けいれん)を起こすことですよね。私もときどき起こつて痛い目に合つてます。あれは、私の場合だと、足首の裏を手で強くつまんで、そのままふくらはぎまで引き上げるのを3回くらいやると治ります。話し合つてなんかいないで

弱いとこ見せていいよと酒が言う	夏草ぶぶき
望まないほうへずれ出す水曜日	峯島 妙
もう少して独り芝居も終わります	村上あつこ
翳雲明日の予定ありすぎる	村上てる
しあわせの岩石落としくらつてる	芝岡かんえもん

芝岡かんえもんさん、「岩石落とし」ってプロレスの技でしょ? 英語だとバックドロップ (Backdrop)。相手の背後から片脇に頭を潜り込ませて相手の腰を両腕で抱え、後方へと反り投げる必殺技じゃないですか。「しあわせ」をこれでもかと「くらつている」ってあんまりじゃない? うらやましい。

やつてみてはどうでしょう。

## C群

何故ここにいるのかわからないが	いる	守田啓子
シンデレラ扁平足でいいじゃない		まみどり
うっかりの連鎖いもうとまで消える		宮井いずみ
湯たんぼホロロ 手作りジャムるるる		熊谷冬鼓
返り入幕をはたした角砂糖		小野五郎

守田啓子さん、これって、自分が何故この世に存在するか? で、まみどりさんは「扁平足」なのですか? 「扁平足」で困るのは、他人に見られると格好悪いってだけでしょ? 実は私も扁平足です(汗) 全日本扁平足協会を作つて「シンデレラ」を会長にしましょうか。

宮井いずみさん、「いもうと」って妹ですよ。 「うっかり」であれこれ消えて、「いもうと」さんまで消え

てしまったの？そりゃ、大変だ（汗）次は自分ってことないよね。

熊谷冬鼓さん、「湯たんぼ」の愛好者ですか。私は一時、百円ショップの小さな湯たんぼを4個使っていたことがあります。あれ、くせになります。今、外は雪なので家において「ジャム」を作っているんですね。「湯たんぼ」の「ホロロ」に「ジャム」の「るるる」か…。杉野草兵さんの「墓場までだが虹るるるとかたつむり」という句を思い出しました。

小野五郎さん、私、相撲に疎くて「返り入幕」を知りませんでした。そこで、広辞苑で引きました、が、ありません。結局、ネットの世話になりました。すると「相撲で、十両に落ちた力士が、再び幕内に入ること。」とありました。ところが、五郎さんのこの句は相撲の話じゃないんですね。「角砂糖」が「返り入幕」を果たしたって、もしかしたら、コーヒーに「角砂糖」を入れないようにしていたのを復活させたってことかな？違うかな…。

おかじようき川柳社会賞雑詠集

# 無人駅

★無人駅12月月間賞

発情期の町がラツピングされている

小野五郎

## ChatGPT に聞いてみた

### 「巳年生まれの川柳作家の2025年運勢は？」

#### ①創造性の高まり

巳年生まれの方は、特に創造性が豊かになる年です。新しいアイデアやインスピレーションが湧きやすく、作品に反映されるでしょう。

#### ②人間関係の充実

コミュニケーション能力が向上し、他の作家や友人との関係が深まります。コラボレーションのチャンスも増えるかもしれません。

#### ③挑戦と成長

新しいテーマやスタイルに挑戦することで、自己成長が期待で

きます。恐れずに新しいことに取り組むと良い結果が得られるでしょう。

#### ④注意点

ただし、過度なストレスやプレッシャーに注意が必要です。リラックスする時間を持つことで、心のバランスを保ちましょう。

#### <総括>

2025年は、創造性と人間関係が鍵となる年です。新しい挑戦を楽しみながら、心の健康にも気を配ってください。

## 峯島 妙

【みねしまたえ・大阪府大阪市】

望まないほうへずれ出す水曜日  
右肩を落としてカラスの自虐ネタ  
混ざらない時間 ずれていく温度  
はじめてはいつも赤いスイートピー  
酔つてるとわかる涙が止まらない

先月号の  
お気に入り

孤独になるまで続くピタゴラスイッチ S i n  
大好きな番組。明るいメロディに孤独の取り合わせが  
シニールです。

## 宮井いずみ

【みやいずみ・大阪府大阪市】

哲学者の顔だが単に眠いだけ  
うつかりの連鎖いもうとまで消える  
寒い寒いねこ死んでしまつてからの  
メランコリーの底にキャベツを投げ込んで  
潔く裸子植物として生きる

先月号の  
お気に入り

どの助詞も取り持ち方にちよつと難 きささぎ彼句吾  
川柳あるあるですけど、川柳だけでなく日常生活もそつ  
かも

## 村井規子

【むらいのりこ・青森県大鰐町】

返り咲き国の劣化と無駄死にと  
会いたくてつい口遊む歌ひとつ  
封筒がやたら立派な年金日  
手に取った野菜眺めてまた戻す  
まだ歩く八十前に逝かぬため

先月号の  
お気に入り

私の訃報聞いたら散つてよね桜 きささぎ彼句吾  
ちなみに私と母は死んだら樹木葬により桜になります。

## 村上あつこ

【むらかみあつこ・青森県青森市】

身体ガタピシ後期高齢のしかかる  
壊れてる記憶装置を直せない  
もう少して独り芝居も終わります  
そろそろそつと迎えに来て欲しい  
ペガサスに乗つて金星まで行ける？

先月号の  
お気に入り

見たいものばかり見ている伊達眼鏡 渡邊こあき  
私もその伊達眼鏡が欲しいです。

## 村上てる

【むらかみてる・青森県青森市】

ハイターにたつぷりつける不平不満  
あの世には持つて行きますありがとう  
罫雲明日の予定ありすぎる  
垂れさがる暗雲の向うに虹がある  
夕やけこやけごはんだよと母の声

先月号の  
お気に入り

着古したワタシに未だなじめない きささぎ彼句吾  
まだなじめなくていいのです。若い気分で人生を送りま  
しょう。

## 守田啓子

【もりたけいこ・青森県三沢市】

笑うたびいちみり延びる水平線  
泣き切った空だ上方修正だ  
湿布貼つて夕日は今日も出番です  
何故ここにいるのかわからないが いる  
過渡期だねほうれい線が深くなる

先月号の  
お気に入り

坂道を転がって迷子そのまま 田中 薫  
最期まで・・・ままのままかも。

## 柳本恵子

【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

シャガールの青から始める一月  
流線形で生きる今日も明日も  
美しい風情だ 大根の花の黄  
雪解けから始まつていく人生  
ホットココア恋心さがしに行く

先月号の  
お気に入り

憎まれ口きいてさみしい花一匂 葉閑女  
今日も一人で群れずにすごします

## 柳本恵子

【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

シャガールの青から始める一月  
流線形で生きる今日も明日も  
美しい風情だ 大根の花の黄  
雪解けから始まつていく人生  
ホットココア恋心さがしに行く

先月号の  
お気に入り

憎まれ口きいてさみしい花一匂 葉閑女  
今日も一人で群れずにすごします

## 葉 閑女

【ようかんによ・青森県青森市】

三年は生きるつもりで買う日記  
冬籠りの水面いい夢見てますか  
下戸ですと言つて哄笑誘いだす  
じゅくじゅくと小悪魔的になるつくね  
初詣歌留多双六二日酔

先月号の  
お気に入り

おや 見たまへ 破廉恥な月じゃないか S i n  
破廉恥な眼でみているからよ

### 吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

ミュージカルその日のために満ちる月  
夢一夜若さに攫ってゆくアリス  
晴れ晴れと声の集団ライト七色  
兵隊のリズムに合わせ動く足  
アリス呼び出すカーテンコール熱いてのひら

先月号のお気に入り  
日常に戻るカビンに戻される  
だから川柳を書くのです  
守田啓子

### 吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

通り雨ガザの悲劇を置いてゆく  
東京が他人の顔で立っていた  
十二階霧の東京また加速  
スーパードで孤独をいやす菓子を買う  
やがて雪地中をめぐる銀河鉄道

先月号のお気に入り

### 四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

晩秋を端から包むファーベスト  
正面のさそり座唐揚げにしたら  
飴色のベビースケジュール充滿  
スパイシーチャイ みな許されて暮色  
付け替える翼冬空仕様、よし

先月号のお気に入り

### 米山明日歌【よねやますか・静岡県長泉町】

わたくしは「晴れ」の急所を握ってる  
やんわりと断る角度さがす指  
宝石箱からだす 追伸の青  
予感だけ信じ最中の皮になる  
独りの隙間で花言葉がゆれる

先月号のお気に入り  
閑節を取り替え年齢を取り替える 渡邊こあき  
凄じ勇氣です。今度お逢いするのが楽しみです。

### 渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

麻酔から覚めてこの世に着地する  
砂浜をひたすら走る夢を見る  
弟の10年ぶりの小言です  
運ひとつ落としてふたつ拾う秋  
外出を待ちかねている帽子たち

先月号のお気に入り  
転ばぬようダルマになってしまおうか 辻井洋子  
ダメです。二本の足でしっかり歩きましょう。

### 安藤なみ【あんだんなみ・愛知県瀬戸市】

手を広げ感情腺に流す籠  
一本の枝が煙草の火を消した  
モーリタニアの蛸が踊るよ安木節  
毎年になつてしまつた同窓会  
もの音の低く聞こえる雪時雨

先月号のお気に入り  
どの助詞も取り持ち方にちよつと難 きささぎ彼句音  
助詞の使い方に迷つてウーンと考えるばかり、取り持ち  
方、いい言葉ですね。

### 帆【いちほ・秋田県秋田市】

目をそらす精一杯のゆで卵  
泣くなよと言つてさつきと星になる  
三つ星の男と女演じきる  
さよならは夢から覚める少し前  
一線に囲まれていて自由人

先月号のお気に入り

### 岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

ナポリタン瘤癩玉をトッピング  
大法螺も入れて神無月の予定  
鬼灯のくび戦ぎだす黙秘する  
空堀や無性に土を食らいたし  
間歌泉の天辺ロックフェッショナル

先月号のお気に入り



### 戎 踊兵【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

殺意まだ眼には残して二日月  
丁度良く使い古した舳い綱  
遅れてる時計もちゃんど昼を指す  
血反吐吐く酒池肉林の足元へ  
ビル風にケモノの顔を飛ばされる

先月号の  
お気に入り

逢う夜は全裸の滝になる私  
水気有る処に神宿ると聞いて居ますが、  
神さまに会える夜ですか。  
米山明日歌

### 奥田悦生【おくだえつお・三重県伊勢市】

あなたの声がひときわ映える森のなか  
善と悪 男と女割り切れぬ  
孤独感おいてけ堀で鯛を釣る  
人として生きて行きたい羅生門  
欺瞞と義憤ネット拡散危うい社会

先月号の  
お気に入り

苔にのみこまれるのも良いか乳房  
ツンと上を向いていれば大丈夫  
きさらぎ彼句吾

### 小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

返り入幕をはたした角砂糖  
半月板損傷ぎりぎりオホーツク  
裏起毛はおつて立つてる伽藍神  
告知する義務があるのに夜討ちかよ  
フィヨルドの奥で寝ている牛頭天王

先月号の  
お気に入り

### 金瀬達雄【かなせたつお・富山県高岡市】

アメリカの「城」は見えない雲の上  
青桐は浄土の祖母の脛(齧る)  
逞しい妻を創ってしまったわ  
寒村を殖やした奴の温い顔  
小春日はイエスの光ひとすじの

先月号の  
お気に入り

祝祭だるうか芋焼酎に小蠅  
祝祭でしょう  
岩根彰子

### きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

シャネルなんかで外れてしまう鉤括弧  
互い違いに並べてみても嘘だった  
電柱も木だった月も月だった  
つい過去へ向かってしまう足袋は脱ぐ  
生きたんだるか卒塔婆の長さほど

先月号の  
お気に入り

棚に上げた自分が10巻まで揃う  
10巻ですか？まだまだですね  
S i n

### 熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

後期高齢スマホデビューという重荷  
未使用の大鍋捨てるしかないね  
押し付けのピーピーケトル即却下  
空き瓶に感情移入してないか  
湯たんぽホロロ 手作りジャムるるる

先月号の  
お気に入り

嘘くさい大丈夫よりイボコロリ  
心の声が聞こえました  
宮井いずみ

### 古川啓子【こがわけいこ・青森県蓬田村】

あめの日も風の日もありがとうです星月夜  
コーヒー香ピーターパンとランチする  
忙しくなくページを捲る日もあつて  
図書館の静けさのなかの豊潤  
ミニシクラメンの赤い焰に包まれる

先月号の  
お気に入り

### 斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

生きている自動血圧計の圧  
婆ちゃんにだつて哲学くらいある  
ピットインなのだベッドはいい固さ  
ブレながらブラブラと行く秋の中  
よろよろと箱に帰つて行くところ

先月号の  
お気に入り

無遠慮に清く正しく生きますわ  
ちよつと私もそう思っていたころでした。  
まきこ

**坂本清乃**【さかもときよの・青森県蓬田村】

晩秋の小さき命土の中  
 白きものふわふわ僕に冬が来た  
 よく転ぶ来世はきつとダルマかな  
 一個ずつ引き出し捨てに森へ行く  
 背中の夕日何時の間に泳ぐ影

先月号のお気に入り

**嵯峨山登**【さがやまと・佐賀県大和町】

ひひびぜんししちひびないしじびひ  
 へへへへへへへへへへへへへへへへ  
 ろろろろろろろろろろろろろろろろろ  
 ううううううううううううううううう  
 ううううううううううううううううう  
 ううううううううううううううううう

先月号のお気に入り

夢二ともモジリア二とも違つ首 葉閑女  
 画廊か美術館でしようか。似て非なる東西の画伯の女と、  
 第三の画家の女。

**笹田隆志**【ささだたかし・青森県青森市】

がんとどきに首つたけな味噌おでん  
 自信過剰な甘茶蔓だが飲んでみる  
 空っぽの映画館にも意地がある  
 著我にみる路地裏の傘追いかけて  
 五七五の色の際立つヒアシンス

先月号のお気に入り

五臓六腑口から出ちゃう程の嗚咽 田中 薫  
 師匠の一艘さんの死を知らされたときの嗚咽でした

**芝岡かんえもん**【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

抱きしめた俺の指からJ A Z Zが鳴る  
 しあわせの岩石落としくらつてる  
 ながいことモヤモヤしてる導火線  
 誰もおかえりとは言わん 蟻の群れ  
 ハートには辿り着けない操縦桿

先月号のお気に入り

逢う夜は全裸の滝になる私 米山明日歌  
 なんとも激しい。でもこんな人が好きである。

**城後朱美**【じょうごあけみ・福岡県八女市】

母を見る覚悟で決めた里帰り  
 かぼちゃスープだけは母に褒められた  
 九十五になったらわかると母が言う  
 母と暮らした十三年は宝もの  
 夜中に目が覚めて母の居ない家

先月号のお気に入り

身体の真ん中に穴があいている 芝岡かんえもん  
 母を見送り、一人になった。もともとして話しかかった。

**須藤しんのすけ**【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

言い訳を並べ推敲するお通夜  
 海底に濡れた身体を押しつける  
 青と黄を君の背中でごちゃぐちゃ混ぜる  
 大切な嘘はこっそり二回言う  
 全力で走り抜けゆく美少年

先月号のお気に入り

夕焼けを齧りつくして竹原ヒストル 峯島妙  
 生き方って百人百様。竹原君らしくて素敵です。

**Sin**【しん・青森県外ヶ浜町】

青春の末端価格を見誤る  
 あなたが溢れた 気がした だけ なのか  
 換気扇 なんでお前が嘘をつく  
 腐ったミカンのまだ食べれるとこみたい  
 リモコンを自分に向けて連打する

先月号のお気に入り

傾合いをみて 妻から何になりますか 芝岡かんえもん  
 人生経験が少な過ぎて、「鬼」としか思えない自分が恥ずかしいです(汗)

**高木まあこ**【たかぎまあこ・青森県黒石市】

気骨あるタコだ蛸壺へ頭突きする  
 忘れてた私も骨が有ったはず  
 骨つ節強くなかつちゃ女でしょ  
 肉を与えて骨護る……の肉が無い  
 骨まで愛して欲しいのよ……でも

先月号のお気に入り

月光を浴びると脱ぎたくなってくる 小野五郎  
 外気に触れお月さまと対峙すると 素になれるような気がするものね!

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

伸びるのは要らぬが伸びる足の爪  
不用意なセリフ 自己嫌悪の憂い  
常識が崩れ真実見えてくる  
納得が出来ない王様は裸  
間違いを重ね重ねて金字塔

先月号のお気に入り  
起きがけの鏡に映るエイリアン  
吉田吹喜  
笑っちゃいました。起きがけはエイリアンでも外出する  
ときはシンデレラになっていますよ。

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

海底に眠る君そうキミの番  
一点をただただ哀愁のオオカミ  
ぶつちやけいまアタマがとんがってます  
引越しが主張している別れの日  
何回目の脱皮かしらひとり酒

先月号のお気に入り  
友達は言葉向日葵に変える  
夏草ふぶき  
いい句ですね。癒されます

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

あまやかしくないようそらまめのそら  
食べることだけに集中転ぶなよ  
たちどまるたんびにおもう木の根つこ  
たべのこししないようむだ口きくな  
理屈っぽいはなしに落ちた落し穴

先月号のお気に入り  
権力を握れば鶴の声になる  
瀧尻善英  
「雀の千声」に「鶴の一声」か。

まきぎん【まきぎん・青森県青森市】

吸って吐いてあなた任せの世を生きる  
転んでもヨイシヨと起きて歩きだす  
回転ドアくるり戒名は決めてある  
ウイנקをしながら小言繰り返す  
ため息を数えることはもう止めた

先月号のお気に入り  
多分いる私のトゲに泣いた人  
辻井洋子  
誰もいないよ。笑っているだけだと思う(笑)

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

愛用のカップ機嫌問うてくる  
惑星の隅っこゆるり湯につかる  
とりあえずこむら返りと話し合う  
五十年暮らした鍋を見届ける  
今夜九時ムーミン谷で無礼講

先月号のお気に入り  
四畳半的生い立ちで綿素材  
守田啓子  
絶妙な掛け合わせ、組み合わせ。

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

引き留めてしまうと夜に突かれる  
弱いとこ見せていいよと酒が言う  
笑い上戸頭に孔雀の羽根生える  
笑い顔と泣き顔分ける窓ガラス  
嫉妬心に向上心を振りかける

先月号のお気に入り  
星月夜亡き友人また一人  
葉閑女  
きれいできれい過ぎて悲しく切なくなるね。

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

お話の続きに期待してた頃  
七人の小人じゃ足りぬ白雪姫  
シンデレラ扁平足でいいじゃない  
夜の街徘徊気味のかぐや姫  
ばあさんに近づいている眠り姫

先月号のお気に入り  
一通の手紙が人を左右する  
奥田悦生  
それって、あの、どこかの知事の話し・・・？

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

そしてまた回されるパワハラの「パワ」  
マンネリをかき混ぜながら夕焼ける  
保護をしたつもりが保護をされた海  
太陽系を遠回りして星になる  
オリジナルの壁登ったら古稀になる

先月号のお気に入り  
欠陥品ですがまだまだ笑えます  
きささぎ彼句吾  
老いることを笑い飛ばして楽しもう!!!

# 川柳忘年会

## 2024

おかじょうき川柳社



▲無人駅年度賞を受賞した小野五郎さんに代表のむさしさんから色紙を贈呈

12月7日(土) 14時～ リッチモンドホテル(青森市)

▼出席者(21名)

むさし・きさらぎ彼句吾・守田啓子・舟木小柳・夏草ふぶき・笹田隆志・熊谷冬鼓・高木まあこ・小野五郎・Sin・原口健二・渡邊こあき・田中薫・野沢省悟・宮古中子・古川啓子・葉閑女・坂本清乃・一帆・村上てる・須藤しんのすけ

むさし(むさし・青森県蓬田村)

前頭葉は空っぽ雪が降っている  
プーチンが隠し持つてる紙オムツ  
イケメンになるまで止めぬ再起動  
その辺に落ちてないかなオスプレイ  
星空とガラガラヘビの後ろ足

無人駅は自由な発表の場です。  
未発表作品5句をお寄せください。  
また、お手元の最新号から、お好きな作品とそれ  
に対する簡単なコメントもお寄せください。

スマホやタブレットで投句する↓



使ってますか？

登録作品数 86,641 句!

## 川柳データベース

<https://okajoki.com/db/>





# 宿題『大』

青森県弘前市 きざらぎ 彼句吾選

## 【佳作】

こんな日は大門未知子の決め台詞

熊谷冬鼓

知ってるか大統領は免停だ

小野五郎

掘り続けブラックホールの仕上げする

夏草ふぶき

青森県大字頑固字吞兵衛

むさし

大いなる自信わずかな羞恥心

笹田隆志

来春の願いはほんのあずき大

渡邊こあき

赦されて等身大の野比のび太

一 帆

ジンベイザメの臍の辺りで茶を沸かす

野沢省悟

大いなる煩惱おにぎりにしちやえ

高木まあこ

それがあなたの原寸大の欲

S i n

## 【特選】

大化の改新から落ち葉焚いても焚いても

守田啓子



# 宿題『谷』

青森県青森市 小野五郎選

## 【佳作】

谷らしい所作で大きな桃あやす

守田啓子

どうしてもV字にハマるつむじ風

夏草ふぶき

底には底があるこのメシはどうだ

S i n

谷川のロケンロール的百合の白

古川啓子

谷底を五百の碧で塗りつぶす

須藤しんのすけ

笑窪つてやっぱり谷のひとつだね

野沢省悟

抱きしめてやらなきや震えてる谷を

きざらぎ彼句吾

唇にふと触れられて出られない

一 帆

谷底で声上げている発火点

高木まあこ

降りてゆく谷に呼ばれた気がするの

熊谷冬鼓

## 【特選】

ほーほたる谷を登って星になれ

むさし





# 宿題『翔』

青森県外ヶ浜町 Sin 選

## 【佳作】

鳥インフルエンザが今日も翔んでいる  
 仮面剥ぎ最終コース翔ている  
 幕末を翔けた龍馬とツーショット  
 翔集のカラス柿喰う奇想曲  
 売れない詩人だった翔べない羽だった  
 翔べよ翔べ短い脚を踏ん張って  
 長いなあローカよろよろ冬のハエ  
 翔び上がる起点としての蛸の足  
 明日の朝翔んでみせると言うモアイ  
 あの人もこの人も翔ぶ手の中で

## 【特選】

トリセツに誰でも翔べるとあるけれど

野沢省悟

宮古中子

舟木小柳

坂本清乃

きさらぎ彼句吾

笹田隆志

守田啓子

小野五郎

むさし

渡邊こあき

熊谷冬鼓



# 宿題『平』

青森県青森市 野沢省悟 選

## 【佳作】

平日のお昼前から飲むビール  
 外出時ブラジャー忘れ真つ平  
 ちつぽけな嘘敷き詰めて真つ平ら  
 平熱でいたいと思う雪だるま  
 平和には飽きたとほざくたわけ者  
 日向水だな平均点の鬼なんて  
 地平線でIDカード求められ  
 「ミンナトモダチ」平たくなった月が来る  
 何もないところで躓いてもひとり  
 平泳ぎするか平謝りするか

## 【特選】

渋抜きも済んだし更地になれそうだ

須藤しんのすけ

坂本清乃

一帆

渡邊こあき

舟木小柳

きさらぎ彼句吾

宮古中子

夏草ふぶき

S i n

守田啓子

熊谷冬鼓







奈良一艘さんのコラム「深艘心理」が全回収録された本が参加者に配られました

## 十和田たてがみ川柳会十一月句会

○日時 11月16日(土)

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・久保あざみ・斉藤蛙井・

佐藤まさあき・白山修治・瀧尻善英・福田芳記・

村上昌子・高田幸柳

○投句者 磯島雅男・城後朱美

■席題 『ランキング』 白山 修治 選

【平抜き】

算数はダメ体育は上位です

別世界長者番付第一位

いつの間に経済大国ランク下げ

ランキング上昇に湧き出す意欲

シナリオの通りに付かぬランキング

にんにくとリンゴ青森県1位

我がしこ名小さいながら番付に

ランキングつき押し出された過去がある

テンションが上がる子からの金メダル

佐藤まさあき

福田 芳記

佐藤まさあき

木村奈生美

木村奈生美

瀧尻 善英

福田 芳記

斉藤 蛙井

村上 昌子

【秀逸】

ランキングこだわり続け蚊帳の外  
ランキング真中ぐらいでいいのかな

【特選】

いま蕾ひらけば順位 入れ替わる

■席題 『ランキング』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

匙かげんひとつでランク下がる肉

俺トップ叫んでみても一人です

テンションが上がる子からの金メダル

ランク外でも俺には合うラーメン屋

ランキングこだわり続け蚊帳の外

シナリオの通りに付かぬランキング

ランキング真中ぐらいでいいのかな

何かしらが外れたランキング

ランキング上昇に湧き出す意欲

【秀逸】

大谷を目指して子等が振るバット

算数はダメ体育は上位です

意図的に操作されてるランキング

高田 幸柳  
斉藤 蛙井

瀧尻 善英

村上 昌子  
斉藤 蛙井

村上 昌子

村上 昌子

佐藤まさあき

高田 幸柳

木村奈生美

斉藤 蛙井

高田 幸柳

木村奈生美

村上 昌子

村上 昌子

佐藤まさあき

高田 幸柳



開会前に奈良一艘さんへ黙禱

■宿題 『落差』

高田 幸柳 選

【平抜き】

老いる程 身の丈を知り なるほどと

白山 修治

この落差のぼるザイルがみあたらぬ

斉藤 蛙井

シワ隠しビフォーアフター落差売り

福田 芳記

素っぴんが化粧念入り変身す

佐藤まさあき

就活の厳しき現実との落差

城後 朱美

親と子の考え方に世代の差

木村奈生美

旨くなる様に杵打つ落差餅

磯島 雅男

夫婦間の落差だんだん近くなる

城後 朱美

北のキム太った父子とやせた民

福田 芳記

百点を取る子の隣り座らされ

瀧尻 善英

年齢差段差跳ぶ人跳べぬ人

村上 昌子

あの頃は小町と呼ばれていたアタシ

瀧尻 善英

【秀逸】

ほろ酔いを越せばたちまち泣き上戸

佐藤まさあき

三日目で無理だと分かる落差婚

城後 朱美

【特選】

万歳の直後に仕掛けられた罠

瀧尻 善英

■宿題 『ランチ』

木村奈生美 選

【平抜き】

居ずまいを正してランチフルコース

佐藤まさあき

待たなくて コンビニがある 車中食

白山 修治

初デートランチと言えずラーメン屋

村上 昌子

味よりもインスタ映えがいいランチ

瀧尻 善英

ママ友の絆深めるランチ会

高田 幸柳

集まってスマホ見ながらするランチ

高田 幸柳

大海の揺れる舳のラブレター

村上 昌子

ランチするビジネスマンのワンコイン

瀧尻 善英

夫よりママ友高くつくランチ

磯島 雅男

誕生日待たずに娘とのランチ

城後 朱美

牛井で昼飯済ますワンコイン

佐藤まさあき

思い出のランチ ステキな人ばかり

斉藤 蛙井

【秀逸】

このランチ肉も魚も遠慮がち

村上 昌子

ブランチが楽で二食の老夫婦

瀧尻 善英

【特選】

年金日ちよつと贅沢するランチ

磯島 雅男

■宿題 『乱暴』

互選

①指示されて殺しいとわぬ闇バイト

福田 芳記

①無法者人は性善一握り

白山 修治

①ガザの民あの咆哮に黙すのみ

斉藤 蛙井

②乱暴な舌にやんわり交わす耳

磯島 雅男

②乱暴な指導に少し愛を乗せ

高田 幸柳

②神様も人も乱暴大嫌い

木村奈生美

③日常の平和 喰い荒した戦車

瀧尻 善英

③本性を丸見えにしてハエ叩く

村上 昌子

③棟梁は「ことば」乱暴「うで」一流

佐藤まさあき

◆十和田たてがみ川柳会1月例会案内◆

【時】 1月18日(土) 午前10時から 【所】 十和田労働

福祉会館 【宿題】(各題三句詠)『留守』福田芳記選

『ルーズ』佐藤まさあき選 【互選】(一句詠)『ルール』

当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入) 【席題】『当

日発表』(三句詠・共選) 選者は、瀧尻善英ほか出席者

から一名 【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平

72 高田幸柳宛





# 川柳吟行会「ぽ」

## 課題『文』

月刊おかしようき11月号の終着駅にSinさんが書いた句の選び方。読者として選ぶ作品と選者として選ぶ作品は違うということ。そう言われると、特選、佳作としながらも、私は「ぽ」の句を読者として選んでいるような気がしてならない。「自分に書けるか、自分にその発想ができるか、自分にこの言葉がチヨイスできるか」これからは、呪文のように唱えてから選んでみようと思う。(渡邊こあき)

【7点】特×3・佳×1

颯爽とですます調で冬が来る 守田啓子

【州花】ずっと前から、そしてこれからは冬はですます調で来るでしょう【まあこ】高村光太郎の“きつぽ

りと冬が来た”を思い出しました。「颯爽と…冬が来る」という表現が良いです【冬鼓】ちよつと改まったですます調で来る冬、それも颯爽と。こつちの都合なんて思いませんいあつからかんとした人をも連想した。【文音】ですます調で冬が来る。私もですます調で迎えます。

【5点】特×2・佳×1

文字化けをしよう貧乏ゆすりしよう 守田啓子

【善江】なるほどと唸る穿ちの効いた作品でした【五郎】ユーモアとアイロニー。肩から力が抜けた生き方に共感。【柳本恵子】面白い取り合わせでした

【5点】特×1・佳×3

焼肉を二人でつくく不文律 峯島 妙

落し文ひらりと亡母が落ちてくる 吉見恵子

【さち】幼虫が食べて育つように、卵を捲いて切り落とす。硬い葉脈を噛みきりくると巻いてくれた小柄な母が惚ばれる。【隆志】実にうまい表現です。「落し文ひらりと」で母への愛情があふれています。

【4点】特×1・佳×2

暖かな部屋で読んでる本のヒリヒリ 夏草ふぶき

【文音】暖かな空気にヒリヒリ感を匂わしていて面白く読みました。のんびりと本を読んでいる後ろめたさを感じさせる【こあき】ヒリヒリでどんな本を読んでいるのか想像できます【いずみ】ふつう本は居心地のよい所で読むもの。「ヒリヒリ」でその内容がよくわかる。

一筆箋の海で尊厳死を思う 岩根彰子

【いずみ】相手であれ、自分であれ尊厳死で逝くと決めたのなら多くを語る必要はない。「一筆箋」がびつたりでかつ「海」なのだ。【踊兵】元氣だった頃の親しい人の達筆な文面を思い出します【隆志】一筆箋の海に尊厳死を思うのがいい。

【5点】佳×5

シンジロー構文という紙風船 滋野さち

【写生】進次郎構文という名詞を川柳に入れたところがいい。できれば進次郎構文で川柳にして欲しかった。(と、無茶振り)【州花】紙風船はこの後何に成長するのでしょうか。【冬鼓】最新の話題を早々に句に仕立てた作者に感服。下5の紙風船がいい。【啓子】時事吟だと思えます。下五が決まった。【かなえ】〇〇構文という話題性のあるものを紙風船と評したところが、まさに川柳。

【4点】特×2

頑張ったね母の棺に入れる文 城後朱美

【規子】私の母は私みたいなどうしようも無いのがいるから大変な人生です。【吉見恵子】母への素直な思いが伝わってくる。

日がな綴る勲などいらん野垂れ死ぬ 笹田隆志

【達雄】句意はよく分からんが文の迫力。勲を数々貰っている方で川柳界の無頼派。凡人はこんな句書けん。【柳本恵子】飾らない生き方にひかれました【まあこ】気持ちよーく解ります。同感です。

訣別の手紙だきちんと雑に読む 夏草ふぶき

【与生】「きちんと雑に読む」がいいですね。もう二度と会うことのない相手、礼を尽くしつつ抜くところは抜く。処世術の要諦を言ってるかのような句です。【妙】きちんと雑ってどうなんでしょう？訣別なのでこの不安定感になるのしょうね【冬鼓】しつかり受け止めるが想いは引かずらない。「きちんと雑」がいい。

母の書き込みがある父の文庫本 月波与生

【啓子】事実だけ書いてどう読むかは読者に委ねている。おそらく自分の家族に置き換えて読むだろう。と計算された作品。いくつものストーリーがうまれそう。【規子】読解力は母の方が深い。母の書き込みの内容に興味津々。【五郎】どういう状況なのか、考えさせる作り方。

【2点】特×1

柳人にとって小説一句吐く 村井規子

【朱美】なるほど、川柳は17文字の小説だと思ふ。17文字に自分の人生を表現したい。

文鳥の嘴ハラミちゃんの小指 宮井いずみ

【かなえ】取り合わせが抜群に面白かった。ストーリーピアノストでユーチューバー。人気の彼女は、ピアノを弾いている時はいつも楽しそう。情景がバツと浮かんだ。

【2点】佳×2

型通りの文面 生家も慕仕舞い 熊谷冬鼓

【朱美】父と母をおくり、ぼちぼち終活。お寺様へ。【州花】言いにくいことのために決まり文句はあるのです

下書きの言葉こぼれる文見草 渡邊こあき

【善江】「文見草」とは大発見ですね【踊兵】こぼれた言葉は、はかなく揺れる萩の穂のような。

泣いているの？笑った絵文字ふたつだもの 高木まあこ

【3点】特×1・佳×1

漢字で叱り平仮名で抱く母の文 柳本恵子

【こあき】母の手紙はいつでも厳しくて優しい【吉見恵子】発想が面白い。少し説明的な句の作りが気になったが。

これからもワレモコウして文化の日 笹田かなえ

【踊兵】上五の「も」が吾亦紅のイメージを増幅していて、確たる自信を感じます。【啓子】さりげなく言葉遊び（たぶん）をしており、楽しく読んだ。

嫁という喉で留め置く物語 滋野さち

【妙】嫁の窮屈さを喉で留め置くんて凄く表現ですね、実感句でしょうか。【ふぶき】言いたいことを喉で留めて、どんな物語がこのあと展開していくのか。物語という言葉に具体性を持たせたほうがいいかな。

駄文です一気が冬がきましたね 渡邊こあき

【柳本恵子】とても心がひかれた作品でした【ふぶき】駄文ですと言い切ってそのあとに一気に押し寄せてきたような寒さ、ドラマ仕立てのようですね。

【与生】絵文字ふたつだと泣く、という意味のないことの意味を読ませる仕組み。おじさんメールは無意味な絵文字が多いのを皮肉っているような。【吉見恵子】川柳らしい深い洞察力を感じました。

書を捨てて修司と2ケツぶんぶん 金瀬達雄

【妙】寺山修司記念館が思い出されます。後半の2ケツぶんぶんがピタリです【隆志】寺山さんと二人乗りしてみたいです。

返信が微妙にズレる枯れ尾花 熊谷冬鼓

【文音】枯れ尾花が気に障りますが、微妙にズレることを実感しています。【さち】白くそそけ立つススキががすかに揺れるようです。

二度とは致しません。署名捺印 小野五郎

【朱美】夫の会社の借金に何度署名捺印したことか。【達雄】妻に何度も書いたなあ。えっと、鏡台の引き出し…。

※一点句は割愛します。

## おかしょうき川柳社ウェブサイトからの投句について

現在、おかしょうき川柳社のウェブサイトは、サーバー移転のため、一部サービスが使用できない状況となっております。

みなさんがよく使用する「投句ページ」もすべて Google フォームへ移行して対応しています。

ただ、投句された方から、「画像認証がうまくいなくて投句できない」という声が多く寄せられています。これは、ロボットによる大量投稿を防ぐためのセキュリティとして行われています。

画像認証が出てくる人と出ない人がいますので、下記の方法をいくつか試してください。

### ①「Google Chrome」でウェブサイトを開覧する。

Android のスマホだと標準で「Google Chrome」となっているため「ロボットではありません」のチェックで済むようですが、iPhone は標準が「Safari」になっているため、画像認証が出てくるようです。**iPhone の方は、右の QR コードから「Google Chrome」をインストール**してみてください。



### ② Google アカウントを作成する

iPhone の「Safari」を使用している場合、**Google アカウントを作成してログイン**すれば、画像認証は出ないはずです。Google アカウントを作成しておけば、いろいろなサービスがありますので、作ってみてはいかがでしょうか。



### ③画像認証を突破する

画像認証は右の例でいうと、9つのタイルから自動車が映り込んでいるものを**すべて選択**します。なかには、ギリギリに映り込んでいるものもありますので、注意が必要です。

ただ、**間違えても全然大丈夫**なので、それらしいものを選択して「確認」を何度か押してみれば突破できるはずです。



わかりにくい問題だった場合、ここで問題を変えれます



### □ 2025.01.15 第13回卑弥呼の里誌上川柳大会

【課題・選者】『自由吟』熊谷岳朗・大西泰世 / 『ごめん』横尾信雄・赤松ますみ / 『洗う』兵頭全郎・鈴木順子 / 『ジグザグ』淡路放生・木本朱夏 / 『台詞』平尾正人・樋口由紀子【投句】専用投句用紙利用（コピー可）【参加費】1,000円（切手不可）発表誌呈（令和7年4月初旬発送予定）【締め切り】令和7年1月15日（水）消印有効【投句先】〒842-0103 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲2426-2 卑弥呼の里川柳会 真島久美子 電話・FAX 0952-52-1061【賞】各題特選1句 有田焼 / 各題佳作5句 図書券（その他サプライズ賞あり）【主催】卑弥呼の里川柳会

### □ 2025.01.19 第89回新春川柳大会

【日時】令和7年1月19日（日）【席題発表】午前10時（10時受付開始）【会場】弘前プラザホテル（弘前市代官町101-1）【会費】4千円（弁当発表誌）\*懇親会はありません【宿題】（各題2句詠・共選 投句拝辞）「穴」北山まみどり・むさし「急がば回れ」守田啓子・田沢恒坊「欲望」滋野さち・長谷川酔月「しよぼしよぼ」沢田百合子・渡辺松風【席題】（各題2句詠・共選）「 」熊谷冬鼓・三浦蒼鬼「 」笹田かなえ・野沢省悟【我洲杯】（1句詠・3人共選）\*採点 特選1句=2点 佳作15句=1点「顔」成田我楽・岩崎雪洲・佐藤ぶんじ◆宿泊ご希望の方は1月10日までに、次にご連絡下さい。〒036-8227 弘前市桔梗野3-3-3 千島鉄男 TEL.0172-34-3392【主催】弘前川柳社【後援】弘前文芸協会

### □ 2025.01.31 青森県川柳年鑑「ねぶた」作品募集 2025年(第6集)

【応募資格】青森県在住または青森県内の結社に所属している方【対象作品】残しておきたい自選10句（新作、旧作問わず）・作品にタイトル（タイトル無しも可）【応募料】3,000円（切手不可）・家族割（2名で4,500円）郵便振込No.02230-8-142889（口座名）青森県川柳連盟【応募方法】①メールで応募…件名に「ねぶた応募」メール本文（横書き）に作品10句・柳号（ふりがな）・住所・年齢・性別・電話番号・所属結社（2社まで）を入力し、<hiro-m40@amber.plala.or.jp>（守田啓子）へ送信する ②郵送で応募…所定用紙（裏面・コピー可）またはA4用紙に裏面内容を楷書で明記する【送り先】〒036-8083 弘前市新里字上樋田121 きさらぎ彼句吾方 川柳年鑑係 ※作業効率を図る為、郵便振替・メールでの応募をお願いしています【募集期間】2024年10月～2025年1月末日【発行】2025年5～6月予定【問合せ】青森県川柳連盟事務局 濱山哲也 Tel 080-5574-9297



■会費拝受【11月受付分】

舟木小柳・村井規子（以上青森県）

■おかじょうき川柳社 会員登録しませんか？

おかじょうき川柳社会員登録希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

【会員特典】

- 月例会や会員雑詠集「無人駅」に投句できます！
- 川柳データベースに作品が掲載されます！
- 当柳社が主催する誌上句会等が参加費無料になります！
- 青森の美味しい特産品がたまにもらえます！ etc.

→郵便振替 No.02280-6-43112 □座名：おかじょうき川柳社  
→会費：4,000円（1年分）

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759  
(〒039-3502 青森市久栗坂字浜田 87-2)

終着駅 Sin

◆あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします◆今号は「第29回杉野十佐一賞」の発表号ということで、あらためて、芝岡かんえもんさん、大賞受賞おめでとうございます！◆大賞句となった「紙屑に一度はなってみるといい」。久しぶりにシンプルな造りの作品が選ばれたと思う。仕立て方について、いろいろ人や時代によって多種多様な主義・主張があるが、「世の中には『いい句』と『そうでない句』しかない」という杉野草兵さんの言葉を私は支持している。だからこそ、とりわけ、間口の広い川柳においては、その「いい句」

と「そうでない句」を見極める「選者眼」がもっとも重要なジャンルであると思っている◆世の中には国宝級の紙もあれば、すぐに捨てられるような紙屑までである。自分自身はどうか。自分がクズじゃないと言い切れるだけの価値があるのか。そう問われているように感じながらも、「一度は」というサジェストが加わる。経験してみるのもいい、というアドバイスのように、一度クズになったら元に戻れないんじゃないかという自分もいて、どこか手招きされている怖さを感じる。読者の「クズ」要素によって、姿形が変幻しそうな句である◆Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2025.01.04 おかじょうき川柳社本社 1月句会

【日時】1月4日（土）午後2時～（㊦開始時間変わりました）  
【所】アウガ5階小会議室【投句締切】1月3日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『高い』『菜』『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『スマホ』1句【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2024.1.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句（3月号分）

【締切】1月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】3/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2025.02.08 おかじょうき川柳社本社 2月句会

【日時】2月8日（㊦第2土）午後2時～【所】アウガ5階企画ワーク室③④【投句締切】2月7日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『尖る』『煮』『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『トランプ』1句【ウェブサイトから投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



□ 2024.2.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句（4月号分）

【締切】2月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）【掲載】4/10発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛



